

伊那田島駅から辰野駅まで47.5km 代表的な駅8駅をご紹介します。

秘境駅

伊那田島 (いなたじま)

中川村

飯島 (いじま)

飯島町

【開業】大正4年 【R4 一日平均乗車人員】21人

路線は村の片隅をかすめるように走り、手前の上片桐駅、次の大沢信号場とともに松川町にあります。



【開業】大正7年 【R4 一日平均乗車人員】221人

町の玄関駅です。駅前にある「まちの駅いいちゃん」では、観光案内や特産物販売などの情報発信も行われ、子どもから高齢者まで多くの皆さんの憩いの場になっています。



駒ヶ根 (こまがね)

駒ヶ根市

宮田 (みやだ)

宮田村

【開業】大正3年 【R4 一日平均乗車人員】416人

旧名「赤穂駅」は、赤穂村と上穂村の名前をとって大正3年に開業しました。伊那電気鉄道の本社は東京の京橋で、ここ赤穂支社が事実上の管理機能を担っていました。昭和34年に駒ヶ根駅に改称しました。

【開業】大正2年 【R4 一日平均乗車人員】259人

昭和31年「みやた」から「みやだ」に呼称変更されました。また、駅前の公園には中央アルプスを源とする150年の時を経た湧水が出ています。



## 伊那市 (いなし)

### 伊那市

【開業】明治45年 【R4 一日平均乗車人員】916人

飯田線の県内駅で最も乗車人員が多く、駅長と駅員が配置されるJR東海の直営駅となっています。また、伊那田島駅(中川村)から宮木駅(辰野町)の各駅を管理しています。



## 北殿 (きたとの)

### 南箕輪村

【開業】明治44年 【R4 一日平均乗車人員】247人

県内の村の中で最多の人口(1万6千人余)を有する南箕輪村の玄関駅になっています。たびたび呼称変更し、現在は開業当時と同じ「きたとの」となっています。



## 伊那松島 (いなまつしま)

### 箕輪町

【開業】明治42年  
【R4 一日平均乗車人員】436人

明治42年開業時は路面電車形式の電車でスタートしました。その後、伊那電気鉄道の電車車庫や鉄道工場、変電所などが併設され、鉄道の拠点となりました。昭和58年には伊那松島運輸機関区に併設されていた車両基地が豊橋機関区に集約され、現在はここから発車する電車の留置施設になっています。

平成12年には3番線ホームの線路が撤去され、平成25年からは町が切符販売業務を行っています。



## 辰野 (たつの)

### 辰野町

【開業】明治42年  
【R4 一日平均乗車人員】393人

飯田線の北の境界線です。JR東海は飯田線下りの場内信号からで、駅舎はJR東日本が管轄しています。飯田線の多くの電車が岡谷駅発着となっているため、乗客は岡谷駅で乗り換えて各方面に向かいます。



## 飯田駅開業 100周年記念

番外

2023年8月3日、JR飯田駅は開業から100周年の節目を迎えました。同日行われた記念式典では、リニア中央新幹線の車両をイメージしてリニューアルされた待合所がお披露目されたほか、JR東海の社員の皆さんが毎朝行っている「JR東海体操」が披露され、参加した皆さんと一緒に身体を動かしました。

2010年から運行開始された観光列車「急行 飯田線秘境駅号」は、秘境駅を効率よく巡ることができる人気を集め、毎年春と秋を中心に運行されています。南信州地域振興局では、管内市町村・観光関係者の方々と一緒にJR飯田線平岡駅にて、おもてなしを行っています。



長野県魅力発信ブログ 南信州地域版

南信州お散歩日和

やわらかい方言が使われ、人も地域も温かく穏やかな南信州  
この地域ならではの魅力を、地元の県職員がブログでお伝え  
しています。ぜひご覧ください!

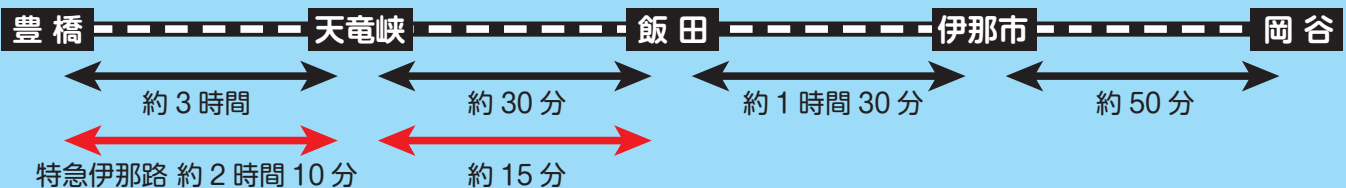
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoia/>



飯田市上村  
下栗の里



南信州にお越しの際は  
魅力満載のローカル線 **飯田線** をご利用ください!



**Go Nature. Go Nagano.**

本パンフレットに掲載している記事・写真は、平成26年から令和5年にかけて取材・撮影したものです。

令和6年3月発行 編集発行:長野県南信州地域振興局

協力:長野県上伊那地域振興局

愛知県東三河総局

愛知県東三河総局新城設案振興事務所

静岡県西部地域局

このパンフレットは、地域振興推進費\*により作成しました。

\*地域振興局長がリーダーシップを発揮し、地域課題解決や地域活性化のための取組を進めるため、他の県現地機関と連携調整し、自ら考え取り組む予算です。